

# 令和7年度第5回地方独立行政法人茨城県西部医療機構評価委員会 会議録

日 時：令和8年1月20日（火） 午後6時30分から午後7時10分まで

場 所：オンライン会議（事務局：茨城県西部メディカルセンター会議室）

出 席：榎戸委員、川合委員、豊崎委員、中島委員、原委員（50音順）

事務局等：■茨城県西部医療機構

□茨城県西部医療機構

水谷理事長

□茨城県西部メディカルセンター

梶井病院長、近藤副病院長兼診療所長兼地域医療連携部長、

佐久間副病院長兼事務部長、菊地副病院長兼看護部長、

仁平事務部副部長、犬田事務部副部長兼人事課長、市村事務部調整監、

森総務課長、飯島経理課長、飯島経営企画課長、山越医事課長、

塚越医療支援課長、横田地域医療連携室長

□ちくせい総合健診センター

松村センター長、福原業務課長

□筑西診療所

飛田事務部部門長

■事務局（筑西市）

菊池副市長

保健福祉部：高島部長、寺内副部長

保健福祉部地域医療推進課：長塚課長、大島係長、池沢主任、松永

## 1 開 会

司会から会議成立の報告

## 2 副市長挨拶

菊池副市長から挨拶

## 3 議 事

地方独立行政法人茨城県西部医療機構評価委員会条例第6条第1項の規定により、榎戸委員長が議長として議事を進行する。

### （1） 地方独立行政法人茨城県西部医療機構 第3期中期計画の策定について（協議）

議 長 はじめに、議事（1）地方独立行政法人茨城県西部医療機構 第3期中期計画の策定について、西部医療機構から説明をお願いします。

法 人 （資料1・資料2・資料3・資料4・資料5 について説明）

議 長 議事（1）の説明が終了いたしました。

ただいま、西部医療機構から説明がありましたことについて、御意見、御質問のある方はいらっしゃいますか。

委員 2点お聞きしたい。まず、1点目、経営改善推進事業債の支払い計画がどうなっているか。返済計画のグラフ等を作ってあるかどうか。年度ごとの収支に反映されているかどうか。

もう1点は、今度の診療報酬改定では3%と言っていますが、病院に関しては3%どころではない収入が増えると思うので、この計画を変える時期が来る。中期計画変更の可能性についてお聞かせください

法人 経営改善推進事業債の返済計画につきまして、令和8年度に14億9,200万円を借り入れまして、返済が令和8年度から約8,600万円の返済が続いていくような形となります。なお、グラフにつきましては、御用意しておりませんが、参考資料に「資本的収支」という表がございます。内訳として、資本的収入、資本的支出と分かれており、資本的支出、(D)長期借入金償還が令和8年度から3億9,200万円計上しており、この中に含まれております。

事務局 2つ目の質問である、中期計画の変更についてのご質問に回答させていただきます。御指摘の通り、今回の診療報酬改定、平均で+3.09%と決定がされたところでございます。西部メディカルセンターにおきましても急性期一般病棟、また、地域包括ケア病棟のあたりで、今回の診療報酬改定において、これまでからの加算の考え方のバランスの訂正がされたという公表がされてございます。これを受けまして、西部メディカルセンター第3期に入ってから、中間見直しとして、2年後の令和9年度末をめどに中間見直しを行うことで、その時の経営状況を踏まえ、先ほどのご説明でもございました市からの、新たな支援、令和10年度及び令和11年度に予定をしておりますけれども、その金額にも、直接的に関わってくるところかと思えます。これらを踏まえまして、中期計画の変更も視野に入れて、今後の経営状況をしっかりと監督をして参りたいと考えているところでございます。

委員 償還がほぼ平たんになっているが、財投と違うのですね。平たん償還しているのか。それから、新しい機器、高額機器等、或いは建設等がない限り、P/L(損益計算書)でいくとどんどん下がっていく。その辺の報告は市にしなければならぬと思うが、その辺の見通しは大丈夫ですか。

法人 借入金につきましては、元利均等方式で、毎年同額に近い金額を返済していくようになっております。機器購入費の分も計画はしておりますが、同じように、借入金の償還に含まれております。こちら、元利償還で5年間償還していく計画になっております

委員 経営改善事業債が15億円で返済が每期8,600万円だと15年以内は難しいと思うが。

法人 初年度は8,600万円、翌年度が8,800万円、3年目8,900円、4年目9,100万円と徐々に元金の返済額が増えていく。残高に対する利息の計

算で算出しておりますので、利息額が年々減っていき、返済元金が増えていく試算となっております。そうすると、15年で15億円の返済になる。

委員 経営改善事業債によって、資金収支があまり改善してないという印象ですが、反映できないような状況なのか。

法人 今回、経営改善事業債の他に、医療機器更新の借入を同時におこなっており、2026年から2030年まで、その機器の返済が重なっていつこともあり2030年までは、現金収支に変動がない状況になっている。それ以降6年目以降については、資金収支が改善していく計画でございます。

委員 経営改善事業債を活用して経営を改善すると費用を少なくするなど、そういうところが出るのかと思う。今回、新たな支援依頼が22億円あると思うのですが、やはり改善しないと、また追加の新たな支援依頼が必要になってくると思うので、費用改善、収支改善を行っていただければと思います。

議長 それでは、西部医療機構から示された第3期中期計画案で差し支えないものいたします。これを踏まえ、事務局は、意見書の作成手続きをお願いします。

なお、前回の会議において委員から御意見がありましたとおり、診療報酬の改定による影響や、医療に関する前提条件に大きな変更が生じた場合には、中期計画の見直しを行う可能性があります。その際には、改めて評価委員会において審議を行うことといたします。

以上で、今回の議事が終了しましたので、進行を事務局にお戻しします。

皆様、御協力いただき誠にありがとうございました。

## 6 連絡事項

事務局から以下のことを説明

- ・ 令和7年度 評価委員会につきましては、本日の開催をもって終了。
- ・ 今後のスケジュールについて

令和8年度地方独立行政法人茨城県西部医療機構評価委員会：WEB会議（ZOOM）  
第1回 令和8年7月中 予定

## 7 閉会